

再生願い10月NYで日米合唱祭

福島は今 世界に響け

日米の合唱団が集い、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興を誓う「第二回カーネギー日米合唱祭」が十月十九日（現地時間）に米国ニューヨークで開かれる。本県から県おかあさん合唱連盟（三宅祐子会長）が出演、音楽の殿堂・カーネギーホールで「そして、春く福島から世界へ」などを披露する。連盟の参加を橋渡しした福島民報社はメンバーを「うつくしま特別復興大使」に委嘱する。美しい歌声とともに、復興の歩みを進める本県の今を世界に発信する。



「そして、春く福島から世界へ」を合唱する県おかあさん合唱連盟の会員。昨年10月、矢吹町

民報社 特別復興大使に 橋渡し



白田さんは昨年十月、矢吹町で催された県おかあさん合唱祭を視察した。連盟の三宅会長らに「福島県から参加することが福島の今を伝えることにな」と訴えた。

県民の頑張っている姿を発信する絶好のチャンス」と快諾。「県民の元気な姿を見せ、震災の際の米国の支援に感謝を伝えたい」と準備を進めている。

県民の思い、現状発信

県民の頑張っている姿を発信する絶好のチャンス」と快諾。「県民の元気な姿を見せ、震災の際の米国の支援に感謝を伝えたい」と準備を進めている。

出演 県おかあさん連盟

日米合唱祭は、歌を通じて、東日本大震災と東電福島第一原発事故からの復興を後押ししようと、NPO法人「9・11風の環コンサート」代表で実家がいわき市にある白田正樹さん（63）が企画した。第一回は平成二十三年五月に開かれた。



ニューヨークでの公演の抱負を語る三宅会長

カーネギーホール ニューヨークのマンハッタンにある。1891年の創設。クラシックやポピュラーなどのコンサートが数多く開かれる音楽の殿堂。メインホールのアイザックスタイン大ホールは2800人収容。

県おかあさん合唱連盟 三宅会長に聞く

元気な歌声で恩返し

県民の頑張っている姿を発信する絶好のチャンス」と快諾。「県民の元気な姿を見せ、震災の際の米国の支援に感謝を伝えたい」と準備を進めている。